

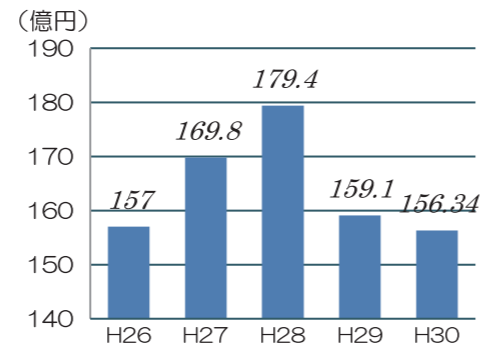
予算はその年によって大小を繰り返す

平成30年度の当初予算は、156億3,400万円で平成29年度年度に比べて1.73%減となりました。

予算額はその年に実施する事業の規模によって大きくなったり小さくなったりを繰り返します。

市では、新しい年度が始まる前に1年間でどれだけの収入があり、行政サービスにどれだけの支出ができるかを計画します。その過程では、市民の皆さんからいただいたご意見や、市が作成している総合計画に照らし合わせながら事業を考え予算を作ります。

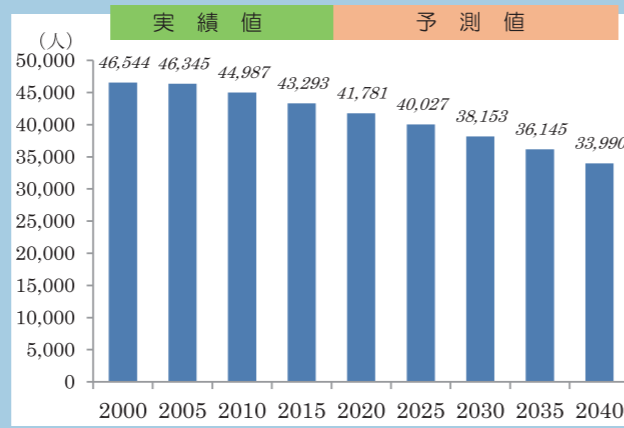
過去5年間の一般会計予算額の推移



下妻市の人口の推移

本市の総人口は、2000年の46,544人をピークに減少に転じており、国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計によると、2040年には、2010年から約25%減の33,990人になると予測されています。

人口減少、少子高齢化が進む中、第6次総合計画で掲げた「人と自然を活かし、住みよさを創るまちしもつま～住み続けたい、選ばれるまちを目指して～」の将来像の実現のため、限られた資源(人や財源など)を有効活用し、持続可能なまちづくりを進める必要があります。

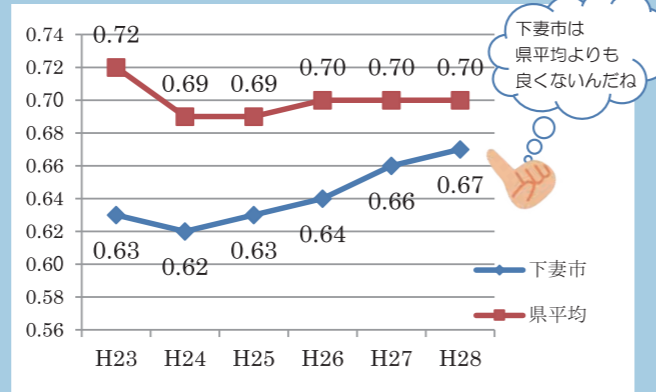


財政力指数の推移

○財政力指数とは?

自治体を運営するのに必要な経費に対して、自前の収入(税金など)がどのくらいあるかを示す数値です。この数値が「1」に近い、または「1」を超えるほど、必要なお金を自ら賄えていることになります。

下妻市の数値も年々改善されつつありますが、県平均と比べるとまだ低い水準にあるといえます。

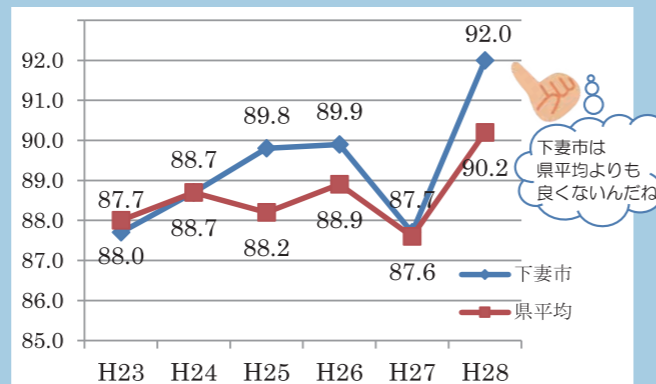


経常収支比率の推移

○経常収支比率とは?

税金や地方交付税などの収入に対し、毎年経常にかかる経費、主に人件費、扶助費、公債費などが占める割合を表したものです。数値が高いほど市が自由に使えるお金が少ないことになります。

平成28年度の下妻市の数値が高くなっているのは、扶助費や物件費が増えたこと、また、普通交付税が少なくなったことなどによる影響です。

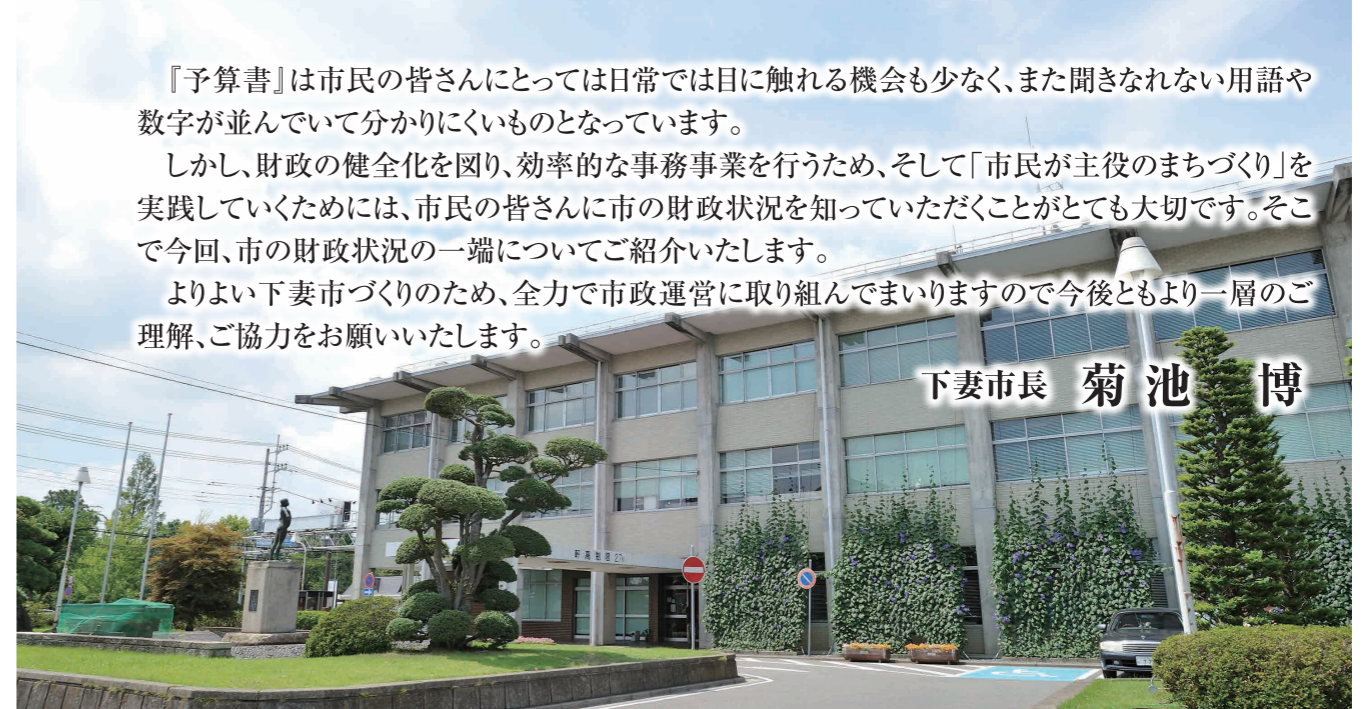


『予算書』は市民の皆さんにとっては日常では目に触れる機会も少なく、また聞きなれない用語や数字が並んでいて分かりにくいものとなっています。

しかし、財政の健全化を図り、効率的な事務事業を行うため、そして「市民が主役のまちづくり」を実践していくためには、市民の皆さんに市の財政状況を知っていただくことがとても大切です。そこで今回、市の財政状況の一端についてご紹介いたします。

よりよい下妻市づくりのため、全力で市政運営に取り組んでまいりますので今後ともより一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

下妻市長 菊池 博



下妻市の台所事情は

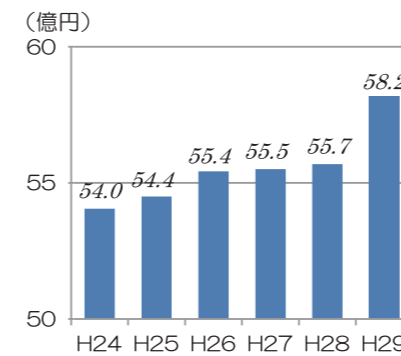
「市の台所事情はどうか?」「収入・貯金・借金はどのくらいか?」をお知らせします。P4には市の予算を家計簿に例えましたので、市の台所事情を知るきっかけとしてご覧ください。

また、市ホームページで『ご紹介! 下妻市の予算と仕事』を公開し、財政状況などについてより詳しくご紹介しています。ぜひそちらもご覧ください。

☎ 財政課 ☎ 43-2158 FAX 43-4214

データで見る下妻市の税金・貯金・借金の現状

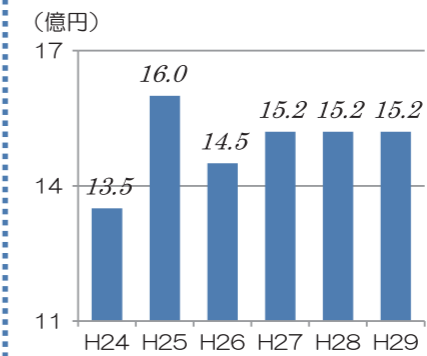
市の税金はどうなっているの?



過去5年間の税金の推移

税金は市の歳入の中で最も大きな割合を占める重要な財源です。税金の内訳は、個人市民税、法人市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、入湯税です。市税は法改正や景気の影響を受けやすいため、より正確に見積ることが重要となります。

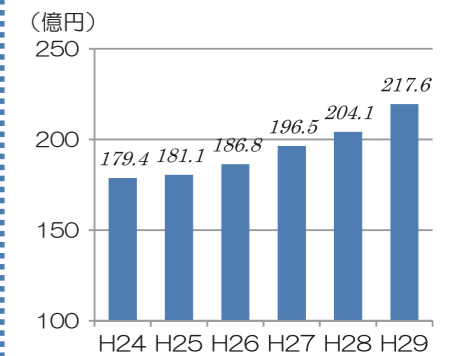
市にはどのくらい貯金があるの?



財政調整基金の残高推移

市の貯金ともいえる財政調整基金は、税金の補てんや災害など緊急時の対応のために積み立てているものです。合併当初(H18)は4.8億円でしたが、その後積極的に積立を行ってきた結果、平成29年度末の残高は15.2億円となりました。これを1人当たり換算すると約34,490円となります。

市にはどのくらい借金があるの?



地方債(借金)の残高推移

建設事業には多額の予算が必要です。それを1年間で支払おうとすると他の事業を行うことができなくなってしまうので、市がお金を借り入れ、数年で返済する方法をとります。市の借金が市債です。中学校建設や道路事業などの市債の借り入れで残高は増加傾向にあります。将来に返すお金が多くなり過ぎないように事業を厳選していく必要があります。